

地域活性化を目指す 上ノ国ワイナリー開所式



1月11日、旧湯ノ岱小学校を改修した「上ノ国ワイナリー」の開所式が開催されました。
同施設は町が整備し、町と上ノ国開発(株)(丸山和之社長)の連携協定に基づき、同社が運営する国内初の宿泊機能付サテライトオフィスを併設型施設となっています。
開所式で丸山社長は「近隣町も含めた地域活性化、地元の方々には交流の拠点として活用していただきたい」と挨拶されました。
式後には、町民を対象とした内覧会が開催され、参加者は、所々に残る湯ノ岱小学校の面影を懐かしみながら、施設内を見学していました。

子供の成長を促す マルチスポーツクラブ開催



1月10日、スポーツセンターにて、多彩な競技の要素を取り入れたスポーツを子どもたちに体験してもらう、1日限定のマルチスポーツクラブが開催され、5〜8歳の児童11名が参加しました。
この催しは「やれるきクラブ」(木村侑代表・江差町)が主催したもので、ボール運動や体操を通して、個々の主体性や協調性などの非認知能力や、基礎的な運動能力を育むことを目的としているとのことでした。
子どもたちは元気いっぱい、ボールゲームや体操などを楽しんでいました。

上ノ国保育所へ クリスマスプレゼント



12月23日、上ノ国保育所にサンタさんとカミゴンが来訪し、子どもたちに一足早いクリスマスプレゼントが届けられました。
この活動は、上ノ国町商工会青年部が地域貢献活動の一環として毎年実施しているもので、園児たちは、サンタさんからのプレゼントを満面の笑顔で受け取っていました。
その後、サンタさんへのお礼を込めて、園児たちがクリスマス会のために練習していた歌「あわてんぼうのサンタクロース」を披露し、クリスマスムードを盛り上げていました。

スキー・スノーボード教室



1月18日、町民スキー場で町スキー連盟(住吉泰文会長)主催のスキー教室が開催され、幼児から高校生まで23名の受講者が参加しました。

初回の教室はあいにくの雨で中止となりましたが、この日は上質の雪が降り積もり、ゲレンデの状態もよく、受講者は講師のアドバイスを聴きながら繰り返し滑り、練習を楽しんでいました。

スキー場は、3月中旬ごろまで営業する予定となっていますので、楽しみながら汗を流してみたいかがでしょうか。